

# 文化往来

愛好者を増やしたい」と話す。

女流義太夫は女性の太夫と三味線弾きで上演する義太夫節。江戸中期には上演されており、明治中

関西での女流義太夫の復興に向け、語り手の太夫や三味線弾きらが任意団体「瑠璃の会」をこのほど設立した。事務局は大阪市に置

## 関西で女流義太夫の団体設立

き、理事長に太夫の竹本土佐恵が就いた。会員は2018年3月に初舞台を踏む3人を含む演者8人。関西の文化人らによる後援会も組織され、土佐恵は「大阪で演奏会を毎年1回以上開き、演者や

阪で芸を磨き、東京に移つて人気を得る演者が次々出た。だが、人

の発掘につなげる。

同期化し、入門者同会は3月3日、国立文楽劇場（大阪市）の小ホールで第2回公演を催す。会員7人が出演し、「恋女房染分手綱」の「重の井子別れ」など上演する。

る女性は結構いる。それにもかかわらず、プロのなり手が出てこないのは公演ができないのが「因」と分析。東京を拠点にする土佐恵が17年4月、関西の演者を後押しして自主公演「瑠璃の会」を開催。今後は自主公演を定期化し、入門者

で衰退。大阪では09年を最後に定期公演は途絶えている。